

文部科学省ユネスコパートナーシップ事業
「アジア/太平洋 小・中・高・大学生ESDワークショップ, 2011」
能勢町で開催！！

本校は、平成16年度から総合学科に改編すると同時に、能勢町立東中学校と西中学校との連携型中高一貫教育を開始し、地域連携を教育の基盤に、国際理解・環境・福祉・地域交流学习への持続的な取組みを進めてきました。このような取組みが評価され、平成22年7月9日に府内の高校では7番目として、ユネスコスクールに認定されました。

早速、この年の8月に大阪国際ユースホテル等で開催されたユネスコスクールネットワーク「学びの交流会2010」（大阪ユネスコスクールネットワークなど主催）に本校代表生徒3名が参加し、本校のESD活動についてのプレゼンテーションを行いました。この学びの交流会を見られた文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室長が、本校の地域連携を基盤としたESD活動を高く評価され、平成23年度の学びの交流会を文部科学省の主催として能勢町で開催することが決定されました。さらに、海外の子どもたちと教員約20名を迎えるとともに東日本大震災で被災した子どもたちを支えることなどが盛り込まれ、文部科学省ユネスコパートナーシップ事業「アジア/太平洋 小・中・高・大学生ESDワークショップ, 2011」として、200名以上が、この8月18日（木）に大阪府立大学、8月19日（金）・20日（土）に能勢町に集うことになりました。

現在、本校生徒たちは、他のユネスコスクールと連携し、豊中市立青少年自然の家「わっぱる」や玉泉寺ユースホテルでのESD実践発表、本校農場や能勢町長谷地区の棚田でのフィールドワーク、本校卒業生の紙芝居師だんまるさんによるワークショップなど、能勢町の豊かな自然と伝統や文化に触れることのできるプログラムを準備しているところです。「大阪のてっぺん」能勢の地での地域性と国際性あふれる活気ある取組みにご期待ください。また、外国の子どもたちのホームステイや準備・運営に係わり、保護者をはじめ多くの地域の方々のご協力に心から感謝申し上げます。



だんまるさんによる
楽しい紙芝居ワークショップ
(昨年度本校で開催)



昨年度の学びの交流会で
本校生徒がESD活動を発表